

# 第3次四国西予ジオパーク推進計画概要版

## ■推進計画策定の目的

本推進計画は、私たちの足元の大地の成り立ちや大地が育んだ多様な生態系、そこで暮らす人々の営みを知るジオパークの活動を通じて、地球と人間との関わりを理解し、持続可能な社会の構築につなげることを目的としている。

地域の魅力を再発見し、地域に対する郷土愛を育むとともに各産業に発展・波及させるため、地域住民及び行政、民間団体、調査・研究機関等が協働で保全し、研究や教育への活用と魅力的なジオツーリズムを推進する。

## ジオパークを活用し、 持続可能な地域社会を実現

## ■背景

西予市は、2013年9月24日に日本ジオパーク委員会から市内全域が「四国西予ジオパーク」として日本ジオパークネットワークへの加盟が認められた。また、2017年12月には初めての再認定となり、2022年1月に2度目の再認定となった。

引き続き、地域の貴重な自然や文化を学び、地球と人とのつながりを知り、地域の地形や地質・生態系・文化を保全することで持続可能な社会づくりを目指す。

## ■計画期間

本計画書による計画期間は計画策定日から2025年度までとする。

## ■取り組むべき施策とその展開

### 1. ジオパーク活動への理解と地域への浸透

#### ①市民に向けたジオパーク理念の理解と浸透

⇒ジオパークが目指す将来像を発信し、ジオパーク活動の地域浸透を図る。

### 2. 保全と整備

#### ①サイトの指定

⇒「四国西予ジオパークにおけるサイト等の定義ならびにその指定等に関する作業指針」を再認定審査の指摘事項に基づき改訂するとともに、その指針に基づきサイトの価値を明らかにし、価値が明らかとなったものはサイトの指定を進める。

#### ②サイトに関する保全・活用リストの作成

⇒各サイトの基本情報を整理したうえで、サイト等の保全や活用を進めるためのリストを作成する。

#### ③サイトの維持管理

⇒市民や地域組織、ジオガイド団体等と連携して各サイトの保全を図る。

#### ④来訪者への安全対策

⇒サイトを安心・安全に見学できる環境整備を進めるとともにガイド等への防災研修を強化する。

### ⑤どんぶり館などにおける情報発信

⇒四国西予ジオパークのビジターセンターとして位置付けている「道の駅どんぶり館」、および「ゆるりあん」、そしてビジターセンターと位置付けていないものの、西予市図書交流館「まなびあん」、「ゆめちゃんこ」に設置しているジオパークの展示を維持管理し、広大な西予市のどの場所においても多くの方がジオパークの情報を収集できるように務める。

### ⑥誘導・解説用看板の整備

⇒四国西予ジオパーク内に、誘導や解説用看板を体系的に整備することを目的として策定したブランディング戦略やサイン計画に基づき、計画的に看板類の拡充を図り、既存の看板を適宜更新する。

## 3. 四国西予ジオミュージアムの活用

### ①展示内容の改善および更新

⇒四国西予ジオミュージアム内に常設される展示内容の改善や更新を随時行い、内容の充実を図る。

### ②企画展の定期開催

⇒四国西予ジオミュージアム内の企画展示室では、自主企画展に加え、他機関や団体と連携した企画展を定期的に行い、新しい情報を発信することで話題性や集客力を高める。

### ③市民や団体と連携した企画展示及びイベントの拡充

⇒四国西予ジオミュージアム内で行われる展示やイベント、学習会に、適宜市民や団体等にも関わってもらい、地域のために活動する施設としての一体感を高め、また地域の情報を市内外に発信していく。

### ④団体利用の促進

⇒市内外の団体による利用件数の増大に努め、繰り返し訪れて楽しめる施設としての認知度を高めていく。

### ⑤受け入れ態勢の強化

⇒外国人観光客や障がい者等の様々な立場の方にも利用しやすい施設であるために、施設の改善や職員の接客対応能力の向上につながる研修機会を設ける。

## 4. ジオパークを活かした持続可能な地域振興

### ①地域づくり組織等が行うジオパーク活動への支援

⇒地質遺産などを活用した住民主体による地域づくりへの取組みを支援し、ボトムアップによるジオパーク活動を推進する。

### ②地域の文化や文化遺産、技術継承への支援

⇒地域づくり組織等と連携し、ジオとのつながりのある文化遺産や伝統技術の継承を図る。

### ③ジオパーク活動に主体的に取り組む市民層の拡大

⇒ジオパーク活動を通じて経済的・精神的満足度が高まり、生きがいを感じることができる市民を増加させる。

### ④ジオ認定ブランド「四国西予ジオの至宝」の推進

⇒関係部署と連携して、四国西予ジオパークに関わるジオストーリーを語る事ができる産品をジオブランドとして認証する「四国西予ジオの至宝」制度をさらに充実させる。

### ⑤ロゴマークの活用

⇒ロゴマークの使用方法や活用例を広く周知することで四国西予ジオパークロゴマークの各種媒体や関連農産品への使用を促し普及に努める。

## 5. 持続可能なジオツーリズムの創出と推進

### ①市内事業者や組織等と連携した多様性を感じられるジオツアー

⇒市内事業者や組織・団体、ジオガイド等と連携することにより、地質・地形や、生態系、文化、人々の暮らしといった四国西予ジオパークならではの多様性を感じられる魅力的なジオツアーを展開する。

### ②ジオガイドの養成

⇒継続したジオガイドの養成によりガイドの質の向上を図るとともに、新規ジオガイドの確保を目指す。

### ③国際交流、インバウンドへの対応

⇒国際化に対応し外国人も楽しめるジオツアーへの環境整備を進める。

### ④交通網の充実と利便性の向上

⇒公共交通機関や民間業者等との連携強化を図り、エリア内を巡る交通手段の強化や利便性の向上を図る。

## 6. 学習・教育活動への活用

### ①市民へのジオパーク学習

⇒地域や団体・組織のニーズに合わせて出前学習や意見交換等を行うとともに、サイト等を利用した市民向けのジオツアーや学習会を行うことによって、ジオパークに関する幅広い知識を学ぶ学習機会の創出を図る。

### ②児童生徒へのジオパーク学習

⇒教育部局等と連携し市内教育現場での出前授業や野外学習、食育を継続して行うことで、四国西予ジオパークを通じた地域学習や自然科学・人文科学等への学びを促進する。

### ③ジオパーク学習資料の活用

⇒市内におけるジオパーク学習を促進するために、出前授業や野外学習において活用することができる統一した資料を作成しその活用を推進する。

### ④児童生徒向けのガイドツアー

⇒学校教育に特化したパンフレットや発達段階に応じた説明ができるガイドの育成などにより、学校が取り組みやすい環境を整えてガイドツアーを増加させる。

## 7. 防災・減災への取り組み

### ①ジオパークエリアで起きた自然災害情報の提供

⇒平成30年7月豪雨災害を風化させないために、災害経験を伝えることができる方策や災害伝承展示室、サイトの活用等を検討し、市民や観光客がより理解を深めることができるような形で情報提供を行う。

### ②防災・減災教育の強化に向けての他機関との連携

⇒防災部局や教育部局など、市役所内部との連携や、大学などの研究機関、博物館、NPOなどと連携し、防災・減災教育を強化する。

### ③ジオと向き合った防災・減災教育の推進

⇒自分たちの住む地域の地質・地形の特性等を学び、自然災害のおそろしさだけでなく、自然から享受している恩恵についても学ぶ「ジオと向き合った防災・減災教育」を推進する。

## 8. 四国西予ジオパークでの調査・研究活動の推進

### ①鍾乳洞・カルスト地形に関する調査・研究活動の推進

⇒四国西予ジオパーク内におけるその場所の価値を高めることにつながる。そのため、研究者等による調査・研究活動を推進する。

### ②四国西予ジオパーク内の土壌に関する調査・研究活動の推進

⇒四国西予ジオパークに分布する土壌の特徴や他地域との違いを明らかにするため、研究者等による調査・研究活動を推進する。

### ③その他サイトの価値を高めるための調査・研究活動の推進

⇒四国西予ジオパークの各サイトで、大地と生態系、人の暮らしとの関連性を科学的に明らかにすることは、その場所の価値を高めることにつながる。そのため、研究者等による調査・研究活動を推進する。

### ④ジオパーク内での調査・研究活動に対する支援の強化

⇒四国西予ジオパーク内での研究者等による調査・研究活動を支援し、ジオミュージアムやジオ関連施設において研究成果や情報の集積を進める。

## 9. ジオパークを活かした健康・スポーツの推進

### ①ジオの魅力を活かしたウォーキングの推進

⇒市内の多様なジオサイトを楽しむことができるウォーキングやノルディックウォーク等のコースの拡充を行い、市民の健康増進と四国西予ジオパークの普及啓発を図る。

### ②ジオの魅力を活かしたサイクリングの推進

⇒四国西予ジオパークの魅力を活かしたサイクリングコースを整備し、ジオパークを楽しめるサイクリングの普及促進を図る。

### ③ジオの魅力を活かしたその他アウトドアスポーツの推進

⇒四国西予ジオパークの魅力を活かしたトレイルランニング、SUPなどの活動を支援し、ジオを絡めたアウトドアスポーツの普及促進を図る。

## 10. その他

### ①ジオガイドネットワーク及び地域ガイド組織への活動支援

⇒四国西予ジオガイドネットワークの活動と地域ガイド組織の活動を支援し、ガイド同士の交流促進、ガイドスキルの向上を図る。

### ②JGNやブロック地域と連携した活動の推進

⇒JGN内での連携プログラムの推進や、中四国近畿ブロックと連携した活動を行い、他地域における先駆的・効果的な活動を学びながら、ジオパーク活動の質の向上やネットワーク間の連携強化に努める。

### ③推進協議会体制の強化

⇒四国西予ジオパーク推進協議会内の各部会活動や、各団体同士の情報交換、連携事業等を推進し、市民が主体となったジオパーク活動の充実を図る。

### ④効果的な広報活動の戦略的展開

⇒対象を絞り、いかにジオパークの魅力を伝えていくかを定めることで効果的な広報活動を実現し、メディアや各種媒体に戦略的なPRを進める。

### ⑤四国西予ジオミュージックプロジェクトの展開

⇒音楽とジオパークの融合というこれまでにない取り組みによって四国西予ジオパークのさらなる魅力を創造し、新たな観光客層の取り込みによる交流人口の拡大及び地域資源の磨き上げ、並びに四国西予ジオパークの知名度・認知度の向上に繋げる。